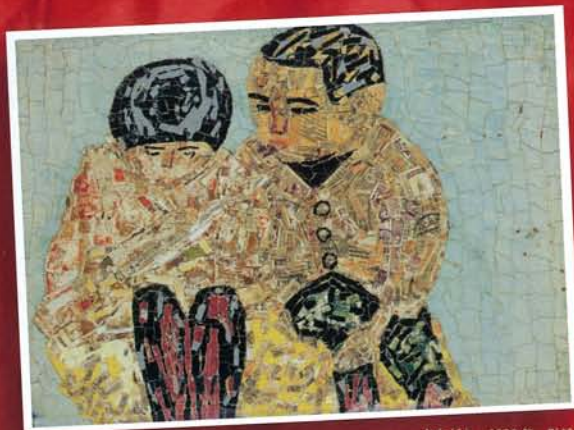


山下清展



長岡の花火 1950年 貼絵

2010
9/10 金
10/11 月祝



ともだち 1938年 貼絵



放浪中に使用したリュックサック

岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室

開館時間 / 10:00 ~ 18:00 (入場は17:30まで)

休館日 / 9月13日(月)

観覧料 / 前売 (一般のみ) 800円
当日 一般 1,000円、65歳以上の方 900円、
中学生・高校生・大学生・専門学校生 600円

※小学生以下は無料です。
※20名以上の団体は、当日料金から各100円引。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、および付添人1名は無料です。
※前売券は、山陽新聞社サービスセンター(山陽新聞本社ビル1F)、主要プレイガイド、ローソンチケット(Lコード69304)、チケットぴあ(Pコード764-230)、山陽新聞販売所などで販売しています。

主催 岡山市デジタルミュージアム、山陽新聞社
後援 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、倉敷ケーブルテレビ、FM岡山、レディオモモ、エフエムくらしき
協力 山下清作品管理事務局
企画協力 ステップ・イースト

5階にて同時開催
企画展「就航100周年 宇高連絡船の歴史」
8月27日(金) ~ 10月11日(月・祝)
(本展期間中は本展の観覧券でご入場できます。)

ぼたる(部分) 1934年 貼絵
蝶々(部分) 1934年 貼絵



2010
9/10 金
10/11 月祝

山下

清展



かたつむり 制作年不詳
ペン画

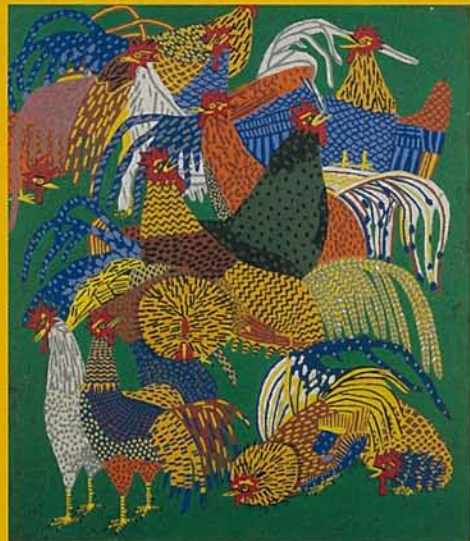
「放浪の天才画家・山下清」。



彼の貼絵には緻密なデッサンに貼り込まれた満色の色紙が、時に優しく、時に力強く、また四季折々の風景にこめられた風の音やその土地の香り、人々の感情までもが巧みに、そして自然に息づいています。

本展覧会は、山下清が生きた激動の昭和という時代の中で、“清が何を考え、何を求め、何を感じながら作品を生みだしたのか”を今の時代に残したく企画されたものです。

彼の完成された技術が堪能できる代表的な貼絵を中心に、独特の手法で仕上げた油彩、点描画家としての才能を発揮した素描や曲面に挑戦した陶芸など、作品約150点を展示します。また、数々の遺品やエピソード、放浪日記などから芸術家としてだけでなく1人の人間としての山下清を紹介します。



群鶏 1960年 油彩



花もも(丸谷焼) 1956年 蓋物



スイスの町 1963年 貼絵



秋のキリン草 1943年 貼絵

山下浩氏によるギャラリートーク (要観覧券)

山下 浩氏 (山下清作品管理事務局代表)
日時 9月10日(金) 午前10時～、午後2時～
会場 4階展示室

ワークショップ (要観覧券)

1「はり絵でエコバッグ」
9月20日(月・祝)午後1時～
(約2時間)

対象 子ども～大人
※小学校2年生以下は保護者同伴

定員 各回20名
会場 4階講義室

2「はり絵で思い出を描こう」
9月26日(日)午後1時～
(約2時間)

応募方法 事前に電話でデジタルミュージアムまでお申し込みください。先着順

5階にて同時開催
企画展「就航100周年 宇高連絡船の歴史」

8月27日(金)～10月11日(月・祝)
(本展期間中は本展の観覧券でご入場できます。)

今年は瀬戸大橋の開通で廃止された宇高連絡船の就航100周年にあたります。本州と四国を結ぶ幹線として、交通技術の発展と地域の振興にとって大きな役割を果たした宇高連絡船の歩みを振り返ります。



JR岡山駅より東西連絡通路直結(西口方面)
※当館に専用駐車場はございません。最寄りりは当ビルB1・B2のリットパーキング(有料)です。



〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1
TEL. 086-898-3000 FAX. 086-898-3003
<http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>